

## 代表質問・一般質問・質疑の概要

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
1	代表質問 (総括質問)	11 北村大助  野々市 フォーラム	1 当初予算編成について
			(1) 新年度各重点事業の狙いとその成果目標を具体的に伺う。
			(2) マイナンバーカードを活用した行政サービスは、今後様々な場面で幅広く展開されていくと、国の動向から予測される。本市もその利便性・DX化の推進を一層進めていく事が重要で、民間との乖離やギャップの差が生じないように取り組む必要がある。見解を伺う。
			(3) 市内4駅それぞれの特性を活かした活性化策について、その方策を伺う。
			(4) 近年の自然災害から市街地治水対策を全般的に再評価する時期に来ている。喫緊に求められる治水対策について、具体的に組み込んでいく各所を伺う。
			(5) 企業誘致について、今年度の企業誘致が成功した実績と、新年度の目標を伺う。
			(6) 中小・零細企業をサポートする市独自の支援メニューを一層充実する必要があると考える。既存メニューのレパートリーが少ない。創業支援に傾注化し、既存事業所へのサポート感が希薄になっている。市長の方策を伺う。
			(7) 新年度における野々市中央公園拡張整備事業基本計画をどこまで進めていきたいのか、見解を伺う。土地の取得状況は間もなく完了という事で、次のステップを伺う。
			(8) 新年度内における中学校部活動地域展開はどのような計画で進めていくのか、見解を伺う。
			(9) 小中学校の学校プール施設整備方針を改めて伺う。公共施設個別施設計画の当初から変更が無く、予定通り進めていくのか確認する。
			(10) 新年度の学校体育館空調設備整備計画を伺う。
			2 財政援助団体等監査について
			(1) 市が補助金、交付金、負担金、貸付金等の財政的援助を与えている団体に対し、財政的援助等に係る出納その他の事務が、適正かつ効率的に行われているのかを主眼とする監査機能を一層強化するべきであり、毎年複数の対象団体を監査すべきである。見解を伺う。
			3 都市計画について
			(1) 金沢外環状道路海側幹線と国道8号が交差する乾東交差点立体交差の見通しが立ってきた事に伴い、国道157号野々市地内沿線の土地利用において、沿道サービスゾーンとしての活用構想を検討いただきたい。市長の見解を伺う。また、企業や事業所が集積できるような商工業エリアのゾーニング構想はないのか、展望を伺う。
			(2) 都市計画決定済みながら事業未着手のところに対する事業認可に向けた準備状況を伺う。
			4 広域事務組合事業について
			(1) 今後の新斎場整備基本方針、推進体制の進捗を伺う。また、候補地選考における重要かつ優先されるポイントを伺う。
			5 放課後児童クラブ運営について
(1) いわゆる保護者運営によるクラブ団体から、法人運営によるクラブ団体へと、時代のニーズと共に、環境が様変わりした。現行の「運営の手引き」も実態やニーズに沿った仕様へと柔軟に見直しが必要であると考え。見解を伺う。			
6 野々市市耐震改修促進計画について			
(1) 計画目標の達成進捗と次期計画策定の特長を伺う。			

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）																				
1	代表質問 (総括質問)	11 北村大助  野々市 フォーラム	<p>7 市民野球場について</p> <table border="1" data-bbox="671 219 1503 353"> <tr> <td data-bbox="671 219 735 353">(1)</td> <td data-bbox="735 219 1503 353">中央公園拡張整備事業基本計画の進捗を待っている中、市民野球場の老朽化に対して、直営で修繕・改修を行う考えはないのか伺う。市民野球場については、計画の一部変更を行い、直営で長寿命化を図る方針が望ましいと考える。見解を伺う。</td> </tr> </table> <p>8 市民協働のまちづくりについて</p> <table border="1" data-bbox="671 405 1503 539"> <tr> <td data-bbox="671 405 735 539">(1)</td> <td data-bbox="735 405 1503 539">町内会役員を経験された方々から、「行政からの各種協力要請が、一部において、負担が感じられる」という声がある。市民協働課もそういった声を耳にしていると思う。一部住民負担とのご指摘について、負担軽減策等を協議検討されているのか、見解を伺う。</td> </tr> </table> <p>9 馳県政と粟市政の連携について</p> <table border="1" data-bbox="671 591 1503 703"> <tr> <td data-bbox="671 591 735 703">(1)</td> <td data-bbox="735 591 1503 703">馳県政がスタートしてからの4年間、粟市政との連携で、成し得た事業や計画の事例を伺う。また、これまでの馳県政の評価と今後期待する事、県と連携して新たに取り組もうとしている計画があるのか、見解を伺う。</td> </tr> </table> <p>10 高市内閣について</p> <table border="1" data-bbox="671 754 1503 822"> <tr> <td data-bbox="671 754 735 822">(1)</td> <td data-bbox="735 754 1503 822">先の衆議院議員総選挙を経て、第2次高市内閣が発足した。第2次高市内閣に期待する事を伺う。</td> </tr> </table>	(1)	中央公園拡張整備事業基本計画の進捗を待っている中、市民野球場の老朽化に対して、直営で修繕・改修を行う考えはないのか伺う。市民野球場については、計画の一部変更を行い、直営で長寿命化を図る方針が望ましいと考える。見解を伺う。	(1)	町内会役員を経験された方々から、「行政からの各種協力要請が、一部において、負担が感じられる」という声がある。市民協働課もそういった声を耳にしていると思う。一部住民負担とのご指摘について、負担軽減策等を協議検討されているのか、見解を伺う。	(1)	馳県政がスタートしてからの4年間、粟市政との連携で、成し得た事業や計画の事例を伺う。また、これまでの馳県政の評価と今後期待する事、県と連携して新たに取り組もうとしている計画があるのか、見解を伺う。	(1)	先の衆議院議員総選挙を経て、第2次高市内閣が発足した。第2次高市内閣に期待する事を伺う。												
(1)	中央公園拡張整備事業基本計画の進捗を待っている中、市民野球場の老朽化に対して、直営で修繕・改修を行う考えはないのか伺う。市民野球場については、計画の一部変更を行い、直営で長寿命化を図る方針が望ましいと考える。見解を伺う。																						
(1)	町内会役員を経験された方々から、「行政からの各種協力要請が、一部において、負担が感じられる」という声がある。市民協働課もそういった声を耳にしていると思う。一部住民負担とのご指摘について、負担軽減策等を協議検討されているのか、見解を伺う。																						
(1)	馳県政がスタートしてからの4年間、粟市政との連携で、成し得た事業や計画の事例を伺う。また、これまでの馳県政の評価と今後期待する事、県と連携して新たに取り組もうとしている計画があるのか、見解を伺う。																						
(1)	先の衆議院議員総選挙を経て、第2次高市内閣が発足した。第2次高市内閣に期待する事を伺う。																						
2	代表質問 (総括質問)	4 西村雅博  のいち 市民の会	<p>1 令和8年度予算編成について</p> <table border="1" data-bbox="671 882 1503 1050"> <tr> <td data-bbox="671 882 735 972">(1)</td> <td data-bbox="735 882 1503 972">令和8年度の予算編成における重点ポイントについて、どのような思いを込めた編成なのか。市長の見解を伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="671 972 735 1050">(2)</td> <td data-bbox="735 972 1503 1050">各施策における物価高対策と見込まれる効果について、市長の見解を伺う。</td> </tr> </table> <p>2 第二次総合計画について</p> <table border="1" data-bbox="671 1102 1503 1214"> <tr> <td data-bbox="671 1102 735 1214">(1)</td> <td data-bbox="735 1102 1503 1214">令和7年度市民意識調査の結果とそれを踏まえ、成果指標の中間年度となる、令和8年度は、どのような視点で見直しを行うのか、市長の見解を伺う。</td> </tr> </table> <p>3 単独市制施行の振返りにについて</p> <table border="1" data-bbox="671 1265 1503 1411"> <tr> <td data-bbox="671 1265 735 1332">(1)</td> <td data-bbox="735 1265 1503 1332">市制施行15年目となる。この間を振り返り、市長の見解を伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="671 1332 735 1411">(2)</td> <td data-bbox="735 1332 1503 1411">単独市制となった現在において、メリットとデメリットについて市長の見解を伺う。</td> </tr> </table> <p>4 公共施設個別施設計画について</p> <table border="1" data-bbox="671 1462 1503 1608"> <tr> <td data-bbox="671 1462 735 1529">(1)</td> <td data-bbox="735 1462 1503 1529">計画策定から5年経過し、その進捗状況について市長の見解を伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="671 1529 735 1608">(2)</td> <td data-bbox="735 1529 1503 1608">計画策定当初から材料費や人件費の高騰、技術者不足となっている現状において、実施予定の見直しの有無について市長の見解を伺う。</td> </tr> </table> <p>5 本市の「人口」推計について</p> <table border="1" data-bbox="671 1659 1503 1771"> <tr> <td data-bbox="671 1659 735 1771">(1)</td> <td data-bbox="735 1659 1503 1771">県が1月に発表した推計人口において、本市の推計人口は、県内4位となった。人口増加についての要因をどの様に分析しているのか、また今後更なる人口増加に向けた具体的な取り組みについて、市長の見解を伺う。</td> </tr> </table> <p>6 「1月」の豪雪対応について</p> <table border="1" data-bbox="671 1823 1503 2027"> <tr> <td data-bbox="671 1823 735 1935">(1)</td> <td data-bbox="735 1823 1503 1935">雪害対策本部を立ち上げ、すみやかな除雪実施にて対応頂いた。雪害対策本部長として、実施した雪害対応をどの様に評価するのか、市長の見解を伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="671 1935 735 2027">(2)</td> <td data-bbox="735 1935 1503 2027">市民が歩道除雪した雪の置場として、低木植樹柵に排雪しているが、排雪しきれず道路にまで影響し交通渋滞が発生している。低木植樹の除却、伐採や植樹入替え等、その在り方について、市長の見解を伺う。</td> </tr> </table>	(1)	令和8年度の予算編成における重点ポイントについて、どのような思いを込めた編成なのか。市長の見解を伺う。	(2)	各施策における物価高対策と見込まれる効果について、市長の見解を伺う。	(1)	令和7年度市民意識調査の結果とそれを踏まえ、成果指標の中間年度となる、令和8年度は、どのような視点で見直しを行うのか、市長の見解を伺う。	(1)	市制施行15年目となる。この間を振り返り、市長の見解を伺う。	(2)	単独市制となった現在において、メリットとデメリットについて市長の見解を伺う。	(1)	計画策定から5年経過し、その進捗状況について市長の見解を伺う。	(2)	計画策定当初から材料費や人件費の高騰、技術者不足となっている現状において、実施予定の見直しの有無について市長の見解を伺う。	(1)	県が1月に発表した推計人口において、本市の推計人口は、県内4位となった。人口増加についての要因をどの様に分析しているのか、また今後更なる人口増加に向けた具体的な取り組みについて、市長の見解を伺う。	(1)	雪害対策本部を立ち上げ、すみやかな除雪実施にて対応頂いた。雪害対策本部長として、実施した雪害対応をどの様に評価するのか、市長の見解を伺う。	(2)	市民が歩道除雪した雪の置場として、低木植樹柵に排雪しているが、排雪しきれず道路にまで影響し交通渋滞が発生している。低木植樹の除却、伐採や植樹入替え等、その在り方について、市長の見解を伺う。
(1)	令和8年度の予算編成における重点ポイントについて、どのような思いを込めた編成なのか。市長の見解を伺う。																						
(2)	各施策における物価高対策と見込まれる効果について、市長の見解を伺う。																						
(1)	令和7年度市民意識調査の結果とそれを踏まえ、成果指標の中間年度となる、令和8年度は、どのような視点で見直しを行うのか、市長の見解を伺う。																						
(1)	市制施行15年目となる。この間を振り返り、市長の見解を伺う。																						
(2)	単独市制となった現在において、メリットとデメリットについて市長の見解を伺う。																						
(1)	計画策定から5年経過し、その進捗状況について市長の見解を伺う。																						
(2)	計画策定当初から材料費や人件費の高騰、技術者不足となっている現状において、実施予定の見直しの有無について市長の見解を伺う。																						
(1)	県が1月に発表した推計人口において、本市の推計人口は、県内4位となった。人口増加についての要因をどの様に分析しているのか、また今後更なる人口増加に向けた具体的な取り組みについて、市長の見解を伺う。																						
(1)	雪害対策本部を立ち上げ、すみやかな除雪実施にて対応頂いた。雪害対策本部長として、実施した雪害対応をどの様に評価するのか、市長の見解を伺う。																						
(2)	市民が歩道除雪した雪の置場として、低木植樹柵に排雪しているが、排雪しきれず道路にまで影響し交通渋滞が発生している。低木植樹の除却、伐採や植樹入替え等、その在り方について、市長の見解を伺う。																						

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）														
3	一般質問 (一問一答)	2 木谷直子	<p>1 「プレコンセプションケア」の推進について</p> <table border="1" data-bbox="671 219 1503 539"> <tr> <td data-bbox="671 219 735 376">(1)</td> <td data-bbox="735 219 1503 376">性別にかかわらず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザインや将来を考えて健康管理を行う「プレコンセプションケア」という概念を知り、知識を適切に身につけることは重要であり、本市においても推進に取り組むべきだ。本市のプレコンセプションケアに対する認識と、推進に向けた今後の取組みについて伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="671 376 735 539">(2)</td> <td data-bbox="735 376 1503 539">加賀市や福岡市では、将来の妊娠に備え、個人差がある卵巣に残っている卵子の数の目安を知ることができる「AMH検査」を、無料や安価で実施している。ぜひ、本市のプレコンセプションケア推進の取組みとして、AMH検査の導入と検査費用の助成も含めた検討をしていくべきと考え、見解を伺う。</td> </tr> </table> <p>2 感震ブレーカーの普及と家庭用防災用品に対する補助について</p> <table border="1" data-bbox="671 589 1503 1037"> <tr> <td data-bbox="671 589 735 801">(1)</td> <td data-bbox="735 589 1503 801">昨年より、感震ブレーカーに対し、県は購入・設置費用の2分の1を補助し、市は県の補助金を差し引いた額に対して補助をしており、市民は4分の1程度の費用で購入・設置ができることになっている。しかし、利用者が少ない。もっと多くの方に情報が届くよう、積極的に周知に取り組む必要があると思うし、県と市の両方申請しなければならないことを考え、できるだけ市の手続きは簡略化できるように工夫していただきたいと思う。本事業における現状の受け止めと、今後の取組みについて伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="671 801 735 1037">(2)</td> <td data-bbox="735 801 1503 1037">感震ブレーカー以外にも各家庭で防災用備蓄品をストックしておくことは重要であるが、頭では必要だと理解はしていても、実際の行動に繋がっていないことも多いのではないかと。そのような方々の行動変容を促すきっかけとするためにも、感震ブレーカー以外の防災用品の購入に対しても補助金制度を創設してはどうか。防災用品を新たに補助金の対象とし周知していくことで、家庭での防災用品の備蓄が促進でき、また、感震ブレーカーも一緒に備えようとの相乗効果が期待できるのではないかと。ぜひ補助金の対象を拡大するべきと考え、所見を伺う。</td> </tr> </table> <p>3 介護・福祉の人手不足対策について</p> <table border="1" data-bbox="671 1086 1503 1615"> <tr> <td data-bbox="671 1086 735 1220">(1)</td> <td data-bbox="735 1086 1503 1220">R8年度には全国で約25万人の介護職員が不足するとされており、介護人材の不足は極めて深刻な状況にある。現在の本市における介護現場の状況をどのように認識されているのか。また、介護人材不足に対しての、これまでの取組みとその成果について伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="671 1220 735 1433">(2)</td> <td data-bbox="735 1220 1503 1433">介護人材の不足に対応するために、全国の自治体で導入が進んでいる介護・福祉特化型のシェアリングサービス「Sketter（スケッター）」がある。これは、レクリエーションや、清掃、配膳、傾聴などの周辺業務のお手伝いを依頼したい事業所と、介護や福祉領域に関心がある地域住民などを、有償ボランティアとしてマッチングするサービスである。こうしたデジタルプラットフォームの活用による介護人材不足に対する取組みについて、本市として、どのように評価されているのか伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="671 1433 735 1615">(3)</td> <td data-bbox="735 1433 1503 1615">厚生労働省はR7年度に「介護未経験者等マッチング機能強化モデル事業」として自治体向けの補助金を新設しているし、R8年度の概算要求でも自治体向けの補助金を発表している。これらを踏まえ、まずは市内事業所を対象とした実証事業として「スケッター」を導入し、導入経費に対する補助を行い、各施設での活用を推進していくことを強く要望する。本市の見解を伺う。</td> </tr> </table>	(1)	性別にかかわらず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザインや将来を考えて健康管理を行う「プレコンセプションケア」という概念を知り、知識を適切に身につけることは重要であり、本市においても推進に取り組むべきだ。本市のプレコンセプションケアに対する認識と、推進に向けた今後の取組みについて伺う。	(2)	加賀市や福岡市では、将来の妊娠に備え、個人差がある卵巣に残っている卵子の数の目安を知ることができる「AMH検査」を、無料や安価で実施している。ぜひ、本市のプレコンセプションケア推進の取組みとして、AMH検査の導入と検査費用の助成も含めた検討をしていくべきと考え、見解を伺う。	(1)	昨年より、感震ブレーカーに対し、県は購入・設置費用の2分の1を補助し、市は県の補助金を差し引いた額に対して補助をしており、市民は4分の1程度の費用で購入・設置ができることになっている。しかし、利用者が少ない。もっと多くの方に情報が届くよう、積極的に周知に取り組む必要があると思うし、県と市の両方申請しなければならないことを考え、できるだけ市の手続きは簡略化できるように工夫していただきたいと思う。本事業における現状の受け止めと、今後の取組みについて伺う。	(2)	感震ブレーカー以外にも各家庭で防災用備蓄品をストックしておくことは重要であるが、頭では必要だと理解はしていても、実際の行動に繋がっていないことも多いのではないかと。そのような方々の行動変容を促すきっかけとするためにも、感震ブレーカー以外の防災用品の購入に対しても補助金制度を創設してはどうか。防災用品を新たに補助金の対象とし周知していくことで、家庭での防災用品の備蓄が促進でき、また、感震ブレーカーも一緒に備えようとの相乗効果が期待できるのではないかと。ぜひ補助金の対象を拡大するべきと考え、所見を伺う。	(1)	R8年度には全国で約25万人の介護職員が不足するとされており、介護人材の不足は極めて深刻な状況にある。現在の本市における介護現場の状況をどのように認識されているのか。また、介護人材不足に対しての、これまでの取組みとその成果について伺う。	(2)	介護人材の不足に対応するために、全国の自治体で導入が進んでいる介護・福祉特化型のシェアリングサービス「Sketter（スケッター）」がある。これは、レクリエーションや、清掃、配膳、傾聴などの周辺業務のお手伝いを依頼したい事業所と、介護や福祉領域に関心がある地域住民などを、有償ボランティアとしてマッチングするサービスである。こうしたデジタルプラットフォームの活用による介護人材不足に対する取組みについて、本市として、どのように評価されているのか伺う。	(3)	厚生労働省はR7年度に「介護未経験者等マッチング機能強化モデル事業」として自治体向けの補助金を新設しているし、R8年度の概算要求でも自治体向けの補助金を発表している。これらを踏まえ、まずは市内事業所を対象とした実証事業として「スケッター」を導入し、導入経費に対する補助を行い、各施設での活用を推進していくことを強く要望する。本市の見解を伺う。
(1)	性別にかかわらず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザインや将来を考えて健康管理を行う「プレコンセプションケア」という概念を知り、知識を適切に身につけることは重要であり、本市においても推進に取り組むべきだ。本市のプレコンセプションケアに対する認識と、推進に向けた今後の取組みについて伺う。																
(2)	加賀市や福岡市では、将来の妊娠に備え、個人差がある卵巣に残っている卵子の数の目安を知ることができる「AMH検査」を、無料や安価で実施している。ぜひ、本市のプレコンセプションケア推進の取組みとして、AMH検査の導入と検査費用の助成も含めた検討をしていくべきと考え、見解を伺う。																
(1)	昨年より、感震ブレーカーに対し、県は購入・設置費用の2分の1を補助し、市は県の補助金を差し引いた額に対して補助をしており、市民は4分の1程度の費用で購入・設置ができることになっている。しかし、利用者が少ない。もっと多くの方に情報が届くよう、積極的に周知に取り組む必要があると思うし、県と市の両方申請しなければならないことを考え、できるだけ市の手続きは簡略化できるように工夫していただきたいと思う。本事業における現状の受け止めと、今後の取組みについて伺う。																
(2)	感震ブレーカー以外にも各家庭で防災用備蓄品をストックしておくことは重要であるが、頭では必要だと理解はしていても、実際の行動に繋がっていないことも多いのではないかと。そのような方々の行動変容を促すきっかけとするためにも、感震ブレーカー以外の防災用品の購入に対しても補助金制度を創設してはどうか。防災用品を新たに補助金の対象とし周知していくことで、家庭での防災用品の備蓄が促進でき、また、感震ブレーカーも一緒に備えようとの相乗効果が期待できるのではないかと。ぜひ補助金の対象を拡大するべきと考え、所見を伺う。																
(1)	R8年度には全国で約25万人の介護職員が不足するとされており、介護人材の不足は極めて深刻な状況にある。現在の本市における介護現場の状況をどのように認識されているのか。また、介護人材不足に対しての、これまでの取組みとその成果について伺う。																
(2)	介護人材の不足に対応するために、全国の自治体で導入が進んでいる介護・福祉特化型のシェアリングサービス「Sketter（スケッター）」がある。これは、レクリエーションや、清掃、配膳、傾聴などの周辺業務のお手伝いを依頼したい事業所と、介護や福祉領域に関心がある地域住民などを、有償ボランティアとしてマッチングするサービスである。こうしたデジタルプラットフォームの活用による介護人材不足に対する取組みについて、本市として、どのように評価されているのか伺う。																
(3)	厚生労働省はR7年度に「介護未経験者等マッチング機能強化モデル事業」として自治体向けの補助金を新設しているし、R8年度の概算要求でも自治体向けの補助金を発表している。これらを踏まえ、まずは市内事業所を対象とした実証事業として「スケッター」を導入し、導入経費に対する補助を行い、各施設での活用を推進していくことを強く要望する。本市の見解を伺う。																
4	一般質問 (一問一答)	15 岩見博	<p>1 子育て支援策について</p> <table border="1" data-bbox="671 1671 1503 2085"> <tr> <td data-bbox="671 1671 735 1883">(1)</td> <td data-bbox="735 1671 1503 1883">学校給食無償化を求める粘り強い市民運動と自治体の取組みが国を動かさし、本市においても4月から小学校の給食が無償化されますが、中学校は残されたままです。そうした中であって、報道によれば、2月18日の金沢市議会一般質問で、村山市長は、中学校の無償化について、「早期の実施が必要だ」と述べ、2027年度をめどに実施を検討すると大きく一歩前に踏み出した答弁をされている。そうすると残るは本市だけとなるが、新年度中の実施も含め中学校給食無償化に踏み出す考えはないか伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="671 1883 735 2085">(2)</td> <td data-bbox="735 1883 1503 2085">「3歳になったら保育料は無料なのに、なぜ0歳児から2歳児は無料でないの」「子どもの保育を年齢で区別する理由はどこにあるの」「国民健康保険では赤ちゃんも均等割の税金を払わなければならないのになぜ」子育て世帯が抱く率直な疑問の声です。教えていただけないか。経済的にも安心して子どもを産み育てることができる社会であってこそ少子化対策になり、女性も働きやすい社会になる。本市の0歳児から2歳児の保育料無料化を求める。</td> </tr> </table>	(1)	学校給食無償化を求める粘り強い市民運動と自治体の取組みが国を動かさし、本市においても4月から小学校の給食が無償化されますが、中学校は残されたままです。そうした中であって、報道によれば、2月18日の金沢市議会一般質問で、村山市長は、中学校の無償化について、「早期の実施が必要だ」と述べ、2027年度をめどに実施を検討すると大きく一歩前に踏み出した答弁をされている。そうすると残るは本市だけとなるが、新年度中の実施も含め中学校給食無償化に踏み出す考えはないか伺う。	(2)	「3歳になったら保育料は無料なのに、なぜ0歳児から2歳児は無料でないの」「子どもの保育を年齢で区別する理由はどこにあるの」「国民健康保険では赤ちゃんも均等割の税金を払わなければならないのになぜ」子育て世帯が抱く率直な疑問の声です。教えていただけないか。経済的にも安心して子どもを産み育てることができる社会であってこそ少子化対策になり、女性も働きやすい社会になる。本市の0歳児から2歳児の保育料無料化を求める。										
(1)	学校給食無償化を求める粘り強い市民運動と自治体の取組みが国を動かさし、本市においても4月から小学校の給食が無償化されますが、中学校は残されたままです。そうした中であって、報道によれば、2月18日の金沢市議会一般質問で、村山市長は、中学校の無償化について、「早期の実施が必要だ」と述べ、2027年度をめどに実施を検討すると大きく一歩前に踏み出した答弁をされている。そうすると残るは本市だけとなるが、新年度中の実施も含め中学校給食無償化に踏み出す考えはないか伺う。																
(2)	「3歳になったら保育料は無料なのに、なぜ0歳児から2歳児は無料でないの」「子どもの保育を年齢で区別する理由はどこにあるの」「国民健康保険では赤ちゃんも均等割の税金を払わなければならないのになぜ」子育て世帯が抱く率直な疑問の声です。教えていただけないか。経済的にも安心して子どもを産み育てることができる社会であってこそ少子化対策になり、女性も働きやすい社会になる。本市の0歳児から2歳児の保育料無料化を求める。																

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
			<p>(3) 保育士の人材確保のため、新年度から、市内の保育所等に勤務する保育士、看護師などの奨学金返還を支援する補助制度の創設は非常に重要な施策である。ただ、今日の保育士不足はなぜ起こっているのかを考えてみると、低賃金と長時間労働が常態化しているうえに、保育基準を緩和し、短時間勤務保育士を導入するなど、正規から非正規への置き換えが進められ、非正規保育士が増えることで正規保育士に負担が集中していることにある。補助制度が十分な効果をあげられるようにするには、保育士配置基準の改善とともに、非正規保育士の比率を下げる正規雇用化が必要ではないか。</p> <p>(4) 全国知事会や全国市長会は、加入者の所得が低い国保が他の医療保険より保険料が高く、負担が限界になっていることを「国保の構造問題」とし、これを解決するため、公費投入・国庫負担を増やし国保税を引き下げることを国に要望し続けている。国民健康保険税が高い要因のひとつに子どもへの均等割課税がある。社会保険には扶養制度があって子どもの保険料負担が発生しない仕組みとなっている。国民健康保険の被保険者の子どもとして生まれることは罪なのか。子どもには税金を納める能力はない。国民健康保険の子どもがなぜこのような理不尽なペナルティーを受けなければならないのか教えていただきたい。せめて市独自で国民健康保険税の子どもへの均等割課税を軽減するよう求める。</p> <p>(5) 昨年7月からの中央保育園でこども誰でも通園制度が試行実施されているが、利用状況とともに、中央保育園以外の公立保育園、私立保育園等での実施状況と新年度からの実施見通しについて伺う。</p> <p>(6) 中央保育園では専用の保育室を設けるとともに、正規保育士1名プラス会計年度任用職員の保育士1名を専属で配置しているが、他の公立保育園での実施に当たっての基準となると理解してよいか。</p>
			<p>2 不登校対策について</p>
4	一般質問 (一問一答)	15 岩見博	<p>(1) 2024年度の小中学校の不登校児童生徒数は12年連続で増え、35万人を超えた。スマートフォンやパソコンの情報・通信時代における友達関係、いじめ、教師との関係、受験、テストなど、貧困などの家庭環境、子ども自身も「なんとなく」などと要因は様々で、しかも、要因は一つではないことも多いのではないかと。不登校の要因について見解を伺う。</p> <p>(2) 政府の不登校対策の「COCOLOプラン」は、不登校により学びにアクセスできない子供たちをゼロにすることを目指し、1. 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える。2. 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する。3. 学校の風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にするとして不登校により学びにアクセスできない子供たちをゼロにすることを目指し、タブレット端末による不登校気味の子どもの「早期発見」を強調し、行き渋り傾向の子どもをあの手この手で登校させることに重点が置かれ、子どもの気持ちを尊重する対応がなくなっている。不登校「当事者ニーズ全国調査」多様な学びプロジェクト2023年によれば、子どもが最も嫌だったことは、登校強制・登校刺激、望まぬ干渉・接触が44・7%となっている。昨年5月23日、日本共産党は不登校についての提言を発表した。提言では、不登校を命の問題と捉え、不登校は子どもや親のせいではない、安心して休んでよいんだと示している。また、不登校が子どもの怠けや親の甘やかしと誤解されることがなく、子どもの心の傷を癒し、安心して休める環境を整えることが重要だとしている。昨年6月9日の参院決算委員会で、日本共産党の吉良よし子参議院議員が石破首相に、つらいときには学校を休むことが必要だとメッセージを発するべきだと求めたところ、首相は、子どもの人権が尊重されるために、学校を休むことも必要だと答弁があった。①野々市市の子どもや保護者に向けて、つらいときには学校を休むことが必要だとメッセージを発信できないか。日本共産党の提言では、不登校の支援を子どもの心の傷への理解と休息・回復の保障を基本に据えることを提案している。② 「要因がわかれば、すぐに解決に繋がる」わけではない。主要因をつきつめようとするのがむしろ子どもを追い詰めることになる可能性がある。教育委員会として不登校を命の問題として捉え、子どもたちの心の回復を最優先にする考えがあるか見解を伺う。</p> <p>(3) 子どもの不登校は保護者の仕事にも大きく影響します。仕事を休んだ、正規雇用からパートに変わった、仕事を辞めたなどの実態があります。厚生労働省は介護休業の対象をひきこもりや不登校の状態にある対象家族にも適用できるよう見直した。こうした国の動向を受けて、本市でも企業への周知や市職員への適用を進めていくことが求められています。周知の取り組みについて伺う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
4	一般質問 (一問一答)	15 岩見博	<p>(4) 子どもの休息と回復を支えるには、保護者への支援を手厚くし、保護者の安心を増やすことが欠かせない。日本共産党の提言では、情報提供や相談支援の拡充、給食費やフリースクール、交通費の負担軽減、保護者のつながりへの支援などを提案している。精神的にも経済的にも負担を抱える保護者に対して適切な支援がなければ、保護者自身が疲弊し、子どもへの対応が難しくなることもあります。不登校の子どもを支える保護者への支援の重要性を市及び教育委員会としてどのように認識しているか伺う。</p> <p>3 補聴器購入費補助対象の拡大といきいき健康診査に難聴検診の導入を</p> <p>(1) 第2次総合計画中間見直しの基礎資料とするための市民意識調査で、重要度が高いが満足度が低いとされている施策のひとつに「高齢者福祉の推進」があげられている。市民が求める高齢者施策のひとつに加齢による難聴対策、認知症対策となる補聴器の購入費補助事業がある。今日、施策の重要性の理解が広がり、全日本年金者組合の調べによると、昨年12月1日現在、補聴器購入補助実施自治体が44都道府県527市区町村へと大きく広がっている。「聞こえる」ことによって家族や社会とのコミュニケーションを維持することは、孤立、生活の質や意欲の低下の防止、認知症のリスクを少なくすることにもつながることから、補聴器購入費補助は党派を超えた要望事項となっている。手話言語・障害者コミュニケーション条例を積極的に推進するものであることから、あらためて市の重要施策として補聴器購入費補助対象を加齢による難聴者にも拡大するよう求める。</p> <p>(2) 2025年度から難聴の啓発や早期発見、受診勧奨などの取り組みが認知症総合支援の推進として評価指標に含まれた。金沢市で実施されているが、本市でもいきいき健康診査に耳鼻咽喉科医による難聴検診を導入できないか。</p> <p>4 いきいき健康診査に緑内障検診の実施を</p> <p>(1) 「眼の検診」は白内障や緑内障などの発見に役立つと同時に、メタボ検診の受診率を上げることに際しても、「眼の検診」を行うことで、高血圧や糖尿病による異常を早期に発見することで、将来的な脳卒中や心血管死亡の危険を予測できる。病気の早期発見のための重層的な検診として実施できないか伺う。</p> <p>5 じょんからまつりの踊りに「炭坑節」</p> <p>(1) 踊りが大好きな女性から「じょんからまつりの踊りの輪が年々小さくなっているのが心配、『炭坑節』なら誰でも知っているし、先ず踊りを楽しんでもらう、踊りの輪に入ってもらおうことが大事ではないか。じょんからまつりの踊りに『炭坑節』入れるよう言ってほしい」との要望を受けました。確かに野々市じょんから節の踊りは難しいと思いますし、誰でもすぐに踊れるわけではありませんから踊りが好きでない方はなかなか踊りの輪に入ることはできない。一方、「炭坑節」は馴染みある踊りですから誰でも気軽に踊りの輪に入りやすいのではないかと。伝統を守りつつも、気軽に踊りの輪に入れていただく。そこから始まるのではないかと。市長の考えを伺う。</p>
5	一般質問 (一問一答)	13 西本政之	<p>1 奨学金返済支援について</p> <p>(1) 大学生への奨学金返済支援について、詳細を伺うとともに、県外の大学卒業生が市内企業に就職した場合も支援すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 保育士への奨学金返済支援について、年齢・金額・期間などの根拠と詳細を伺う。</p> <p>2 孫守り休暇について</p> <p>(1) 石川県が令和8年度から実施を予定している「孫守り休暇」を本市にも導入すべきと考えるがいかがか。</p> <p>3 ひとり親家庭の医療費について</p> <p>(1) ひとり親家庭の親の医療費を現行の償還払いから、子と同じく現物支給にすべきと考えるがいかがか。</p> <p>4 歩道除雪について</p> <p>(1) 迅速な歩道除雪を要望する声が多く聞かれた。歩行者の安全・安心のためにも改善が必要と考えるがいかがか。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）														
6	一般質問 (一問一答)	7 梅野智恵子	<p>1 デフスポーツの普及と本市体育施設整備の在り方について</p> <table border="1" data-bbox="671 215 1505 595"> <tr> <td data-bbox="671 215 735 327">(1)</td> <td data-bbox="735 215 1505 327">デフリンピックの国内初開催という歴史的な機会を一過性のものに終わらせることなく、本市として、デフスポーツの認知向上にどのように取り組んでいくお考えでしょうか。市長のご答弁を求めます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="671 327 735 461">(2)</td> <td data-bbox="735 327 1505 461">デフスポーツの普及や、障害のある方が安心してスポーツに親しめる環境づくりには、手話をはじめとするコミュニケーション支援が欠かせません。今後、体育施設やスポーツイベントの場における手話等の専門人材の配置や育成について、どのようにお考えでしょうか。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="671 461 735 595">(3)</td> <td data-bbox="735 461 1505 595">現在進められている野々市中央公園拡張整備事業に伴う体育館施設整備において、デフスポーツをはじめとする障害者スポーツが「使える」だけでなく「参加しやすく、挑戦しやすい」環境となるよう、どのような視点を持って整備を進めていくのか、本市の考えをお聞かせください。</td> </tr> </table> <p>2 野々市市総合防災訓練について</p> <table border="1" data-bbox="671 645 1505 1126"> <tr> <td data-bbox="671 645 735 779">(1)</td> <td data-bbox="735 645 1505 779">本市が指定している各避難所の施設管理等については教育委員会が所管していると同っておりますが、総合防災訓練の実施にあたり、教育委員会及び学校職員は各拠点避難所にどのように関与し、情報共有や連携を図っているのかお伺いいたします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="671 779 735 992">(2)</td> <td data-bbox="735 779 1505 992">総合防災訓練は各学校を会場として実施されておりますが、学校側に対して訓練内容や当日の運営方針はどの程度共有されているのでしょうか。また、児童生徒に対しては、拠点避難所としての位置付けや訓練実施について、どのような形で周知がなされているのかお伺いいたします。特に、通学している学校と居住する町内会の拠点避難所が異なるケースもあると承知しております。この点について、市としてどのように整理し、情報提供を行っているのかも併せてお伺いいたします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="671 992 735 1126">(3)</td> <td data-bbox="735 992 1505 1126">自主防災組織の主体性を尊重しつつ、将来にわたり持続可能な地域防災体制を構築するため、教育委員会と危機管理部局が連携し、総合防災訓練における子ども・若者の参加型の仕組みについて具体的な方策を検討していくお考えはないか、お伺いいたします。</td> </tr> </table> <p>3 白山野々市川北議会議員協議会の意義と展望について</p> <table border="1" data-bbox="671 1176 1505 1312"> <tr> <td data-bbox="671 1176 735 1312">(1)</td> <td data-bbox="735 1176 1505 1312">首長として、この白山野々市川北議会議員協議会の設立をどのように受け止めておられるのか。また、2市1町の議員が広域的な視点で意見交換を行うこの取組に対し、どのような意義を感じ、今後どのような点に期待しておられるのか、市長のお考えをお聞かせください。</td> </tr> </table>	(1)	デフリンピックの国内初開催という歴史的な機会を一過性のものに終わらせることなく、本市として、デフスポーツの認知向上にどのように取り組んでいくお考えでしょうか。市長のご答弁を求めます。	(2)	デフスポーツの普及や、障害のある方が安心してスポーツに親しめる環境づくりには、手話をはじめとするコミュニケーション支援が欠かせません。今後、体育施設やスポーツイベントの場における手話等の専門人材の配置や育成について、どのようにお考えでしょうか。	(3)	現在進められている野々市中央公園拡張整備事業に伴う体育館施設整備において、デフスポーツをはじめとする障害者スポーツが「使える」だけでなく「参加しやすく、挑戦しやすい」環境となるよう、どのような視点を持って整備を進めていくのか、本市の考えをお聞かせください。	(1)	本市が指定している各避難所の施設管理等については教育委員会が所管していると同っておりますが、総合防災訓練の実施にあたり、教育委員会及び学校職員は各拠点避難所にどのように関与し、情報共有や連携を図っているのかお伺いいたします。	(2)	総合防災訓練は各学校を会場として実施されておりますが、学校側に対して訓練内容や当日の運営方針はどの程度共有されているのでしょうか。また、児童生徒に対しては、拠点避難所としての位置付けや訓練実施について、どのような形で周知がなされているのかお伺いいたします。特に、通学している学校と居住する町内会の拠点避難所が異なるケースもあると承知しております。この点について、市としてどのように整理し、情報提供を行っているのかも併せてお伺いいたします。	(3)	自主防災組織の主体性を尊重しつつ、将来にわたり持続可能な地域防災体制を構築するため、教育委員会と危機管理部局が連携し、総合防災訓練における子ども・若者の参加型の仕組みについて具体的な方策を検討していくお考えはないか、お伺いいたします。	(1)	首長として、この白山野々市川北議会議員協議会の設立をどのように受け止めておられるのか。また、2市1町の議員が広域的な視点で意見交換を行うこの取組に対し、どのような意義を感じ、今後どのような点に期待しておられるのか、市長のお考えをお聞かせください。
(1)	デフリンピックの国内初開催という歴史的な機会を一過性のものに終わらせることなく、本市として、デフスポーツの認知向上にどのように取り組んでいくお考えでしょうか。市長のご答弁を求めます。																
(2)	デフスポーツの普及や、障害のある方が安心してスポーツに親しめる環境づくりには、手話をはじめとするコミュニケーション支援が欠かせません。今後、体育施設やスポーツイベントの場における手話等の専門人材の配置や育成について、どのようにお考えでしょうか。																
(3)	現在進められている野々市中央公園拡張整備事業に伴う体育館施設整備において、デフスポーツをはじめとする障害者スポーツが「使える」だけでなく「参加しやすく、挑戦しやすい」環境となるよう、どのような視点を持って整備を進めていくのか、本市の考えをお聞かせください。																
(1)	本市が指定している各避難所の施設管理等については教育委員会が所管していると同っておりますが、総合防災訓練の実施にあたり、教育委員会及び学校職員は各拠点避難所にどのように関与し、情報共有や連携を図っているのかお伺いいたします。																
(2)	総合防災訓練は各学校を会場として実施されておりますが、学校側に対して訓練内容や当日の運営方針はどの程度共有されているのでしょうか。また、児童生徒に対しては、拠点避難所としての位置付けや訓練実施について、どのような形で周知がなされているのかお伺いいたします。特に、通学している学校と居住する町内会の拠点避難所が異なるケースもあると承知しております。この点について、市としてどのように整理し、情報提供を行っているのかも併せてお伺いいたします。																
(3)	自主防災組織の主体性を尊重しつつ、将来にわたり持続可能な地域防災体制を構築するため、教育委員会と危機管理部局が連携し、総合防災訓練における子ども・若者の参加型の仕組みについて具体的な方策を検討していくお考えはないか、お伺いいたします。																
(1)	首長として、この白山野々市川北議会議員協議会の設立をどのように受け止めておられるのか。また、2市1町の議員が広域的な視点で意見交換を行うこの取組に対し、どのような意義を感じ、今後どのような点に期待しておられるのか、市長のお考えをお聞かせください。																
7	一般質問 (一問一答)	1 三納昭博	<p>1 「おもいやり」のあるまちづくり、ごみの集積所の普及について</p> <table border="1" data-bbox="671 1361 1505 1843"> <tr> <td data-bbox="671 1361 735 1473">(1)</td> <td data-bbox="735 1361 1505 1473">昨年、本町6丁目町内会に設置されたごみ集積所について、生活弱者に対する大変思いやりのある事業であると考えているが、市の所感を伺います。併せて、市民からごみに対する要望や声があったかを伺います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="671 1473 735 1585">(2)</td> <td data-bbox="735 1473 1505 1585">近隣の方等が、「よかれと思って」協力をされていたと考えるが、これまでに市で類似の事業が行われたことがあるか。または、市の事業として計画したことがあるか、市の所感を伺います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="671 1585 735 1843">(3)</td> <td data-bbox="735 1585 1505 1843">本町6丁目町内会が今回設置したごみ集積所は「廃棄物集積所設置補助」を活用しているが、そもそも町内会が費用を負担することや、維持管理の業務を受け持つことに疑問を感じます。また、今後54町内会すべてが設置した場合、単純に「54か所ごみ集積所」が増えることは非効率的であるかと考えます。提案として、市が各地区1か所ずつ設置をし、事業者の取りまとめやごみ集積所の管理を市が行うことを提案します。併せて、対象者の想定をすると介護保険特別会計にて行うことが適切ではないかと考えますが、市の所感を伺います。</td> </tr> </table> <p>2 結ネットやSNS等の活用について</p> <table border="1" data-bbox="671 1892 1505 2103"> <tr> <td data-bbox="671 1892 735 2103">(1)</td> <td data-bbox="735 1892 1505 2103">「結ネット」が令和8年度から有料化されることについて、その費用を市で予算措置して頂いた事、大変感謝いたします。今後の運用として、「市で負担を行うこと＝市も最大限に活用するべき」と考えます。広報等を紙と電子のハイブリットとして町内会の配布部数を減らすことで、省資源化を図ることも可能かと考えます。結ネットを市が利用する構想や計画を伺います。</td> </tr> </table>	(1)	昨年、本町6丁目町内会に設置されたごみ集積所について、生活弱者に対する大変思いやりのある事業であると考えているが、市の所感を伺います。併せて、市民からごみに対する要望や声があったかを伺います。	(2)	近隣の方等が、「よかれと思って」協力をされていたと考えるが、これまでに市で類似の事業が行われたことがあるか。または、市の事業として計画したことがあるか、市の所感を伺います。	(3)	本町6丁目町内会が今回設置したごみ集積所は「廃棄物集積所設置補助」を活用しているが、そもそも町内会が費用を負担することや、維持管理の業務を受け持つことに疑問を感じます。また、今後54町内会すべてが設置した場合、単純に「54か所ごみ集積所」が増えることは非効率的であるかと考えます。提案として、市が各地区1か所ずつ設置をし、事業者の取りまとめやごみ集積所の管理を市が行うことを提案します。併せて、対象者の想定をすると介護保険特別会計にて行うことが適切ではないかと考えますが、市の所感を伺います。	(1)	「結ネット」が令和8年度から有料化されることについて、その費用を市で予算措置して頂いた事、大変感謝いたします。今後の運用として、「市で負担を行うこと＝市も最大限に活用するべき」と考えます。広報等を紙と電子のハイブリットとして町内会の配布部数を減らすことで、省資源化を図ることも可能かと考えます。結ネットを市が利用する構想や計画を伺います。						
(1)	昨年、本町6丁目町内会に設置されたごみ集積所について、生活弱者に対する大変思いやりのある事業であると考えているが、市の所感を伺います。併せて、市民からごみに対する要望や声があったかを伺います。																
(2)	近隣の方等が、「よかれと思って」協力をされていたと考えるが、これまでに市で類似の事業が行われたことがあるか。または、市の事業として計画したことがあるか、市の所感を伺います。																
(3)	本町6丁目町内会が今回設置したごみ集積所は「廃棄物集積所設置補助」を活用しているが、そもそも町内会が費用を負担することや、維持管理の業務を受け持つことに疑問を感じます。また、今後54町内会すべてが設置した場合、単純に「54か所ごみ集積所」が増えることは非効率的であるかと考えます。提案として、市が各地区1か所ずつ設置をし、事業者の取りまとめやごみ集積所の管理を市が行うことを提案します。併せて、対象者の想定をすると介護保険特別会計にて行うことが適切ではないかと考えますが、市の所感を伺います。																
(1)	「結ネット」が令和8年度から有料化されることについて、その費用を市で予算措置して頂いた事、大変感謝いたします。今後の運用として、「市で負担を行うこと＝市も最大限に活用するべき」と考えます。広報等を紙と電子のハイブリットとして町内会の配布部数を減らすことで、省資源化を図ることも可能かと考えます。結ネットを市が利用する構想や計画を伺います。																

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
7	一般質問 (一問一答)	1 三納昭博	<p>(2) 市は現在、公式SNSを多種類利用しているが、投稿内容については部署による偏りがあるなど均一ではないように見受けられるが、SNS等のガイドラインや基準等を伺います。併せて、今後市がいかに活用するか、市の構想や計画を伺います。</p> <p>3 住みやすいまちづくり、住宅の取得について</p> <p>(1) 市内の住宅事情として、賃貸によるものが多いことから、定住者を増やす施策として戸建て住宅の取得推進が必要と考えます。本市は金沢市近郊でも地価が高いエリアと言われ、購入するハードルが高いことから近隣他市町での住宅取得となるケースが多くなります。市として、「住宅取得の促進」と「定住化推進」を併せた施策を望むが、市の所感や計画を伺います。</p> <p>(2) 住宅を建築(購入)する市民への補助について、補助の拡充を行うことにより取得しやすい環境が必要と考え、既存の補助体制の拡充を望むところであります。市の住宅取得に対する補助の現在の利用件数や金額を伺い、補助に関する市の考えを伺います。</p> <p>(3) 提案として、「結婚新生活支援事業補助金」の所得要件の緩和や補助額の拡充や、「ののいち木のぬくもり住宅補助金」の補助額の拡充を。既存の住宅の維持として、また、新築や新規の購入者に対する補助として、「家屋の固定資産税減免の拡充」や「住宅用地の固定資産税の減免の拡充」など、補助を受けることにより「プラスとなった」と感じられる積極補助を行っていただきたいが、市の考えを伺います。</p>
8	一般質問 (一問一答)	3 中村和流	<p>1 給食センターを活用し、長期欠席児童に給食を提供することで、学校以外の「新たなこどもの居場所」を提案</p> <p>(1) 東京都立川市では、給食調理場を活用し、長期欠席児童に給食を提供することで、学校以外の「新しい居場所」をつくる取り組みが行われています。この取り組みは、安心できる場所、食を通じた生活リズムの回復、学校との緩やかなつながりを実現するモデルケースとして注目されています。野々市市でも、給食センターを活用した新たなこどもたちの居場所づくりを提案するので、どのような課題があるのかを整理した上で検討願います。</p> <p>2 こども食堂の現在の在り方と今後</p> <p>(1) こども食堂は2025年には1万2601箇所に加え、全国の中学校数9236校を上回り、全国的に広がり続けています。名称は「こども食堂」ですが、実際には多世代交流・地域の孤立防止・地域づくりの基盤として機能しています。市はこども食堂を「こども支援」だけでなく、「地域づくり」の視点からどのように評価しているのか伺います。</p> <p>(2) 市が企業と結ぶ包括連携協定により、店舗にフードドライブボックスが設置されています。そこに寄付された食品が、野々市こども食堂ネットワークに参加するこども食堂に届けられる仕組みは、とても良い取り組みだと感じています。ネットワークに参加している5つのこども食堂がそれぞれ異なる形で活動している中で、市は、その多様性を生かした支援をどのように具体的に考えているのか伺います。</p> <p>3 野々市市の市民活動センター登録団体のボランティア活動保険の加入状況について</p> <p>(1) 市は、市民活動センター登録団体のボランティア活動保険加入の実態を、どの程度把握していますか。また、市が主催・共催・後援する事業・イベントにおいて、市民活動センター登録団体のボランティア活動保険加入状況の確認は行っているのかを伺います。また、現在、ボランティア活動保険への未加入団体に対する案内・周知はどのように行っていますか。今後、ますます活躍が期待できる市民活動センター登録団体が行う善意の活動が、万が一の事故によって継続困難とならないよう、安心して地域活動ができる環境整備について、市としてどのように考えているのか併せて見解を伺います。</p>